



仙水AS-1000DS 取扱説明書 ご使用前に必ずお読みください

この度は、弊社のセパレート型のオゾン発生装置「仙水」をお買い求めいただきありがとうございます。本装置を安全にかつ効果的にご利用いただくために、本書をご精読の上、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

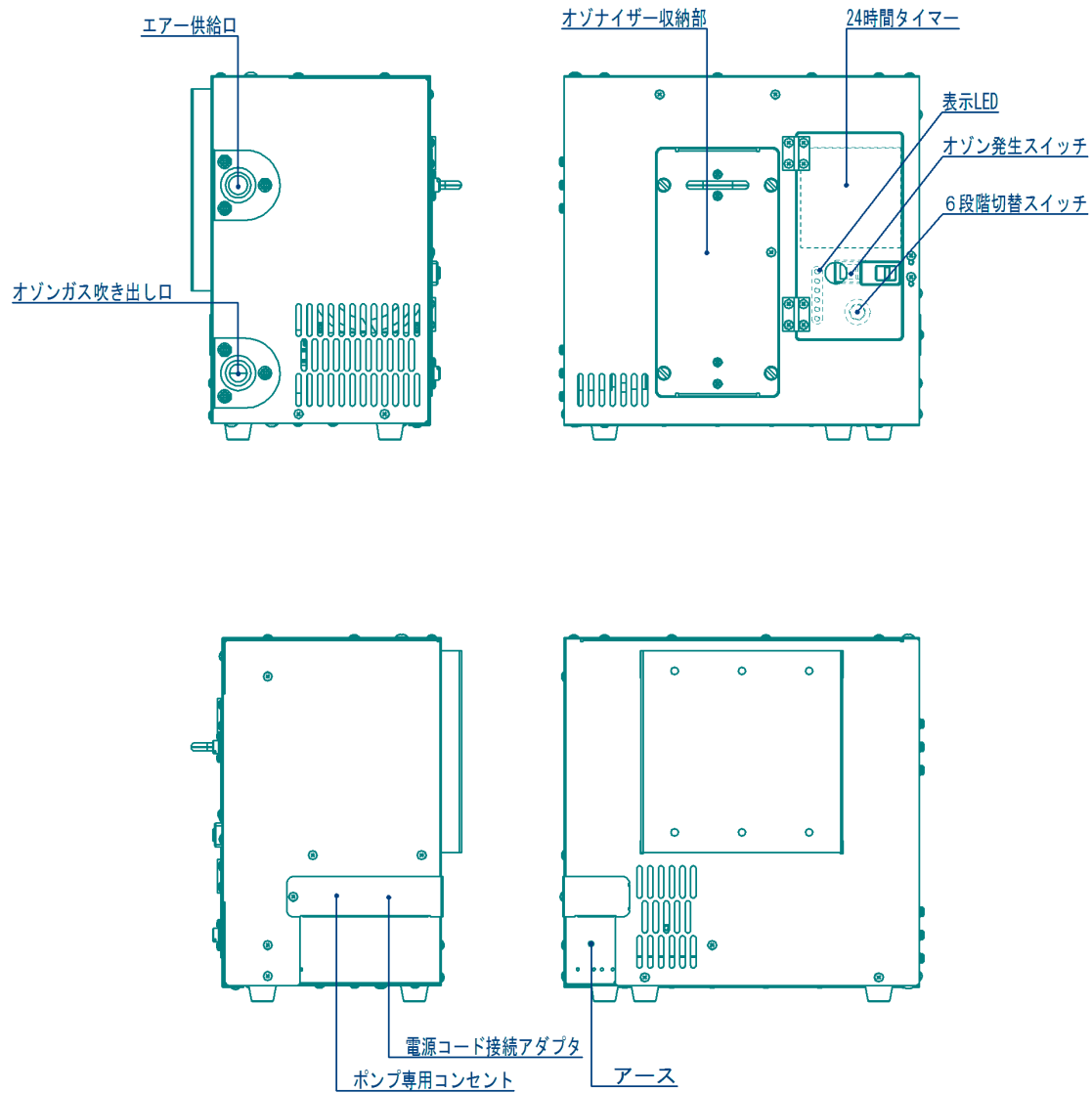
オーニット株式会社

〒709-0802 岡山県赤磐市桜が丘西 10 丁目 31-2

TEL:086-956-2520 FAX:086-956-2521

令和 4 年 4 月 26 日改訂




本体の各部名称



使用上の注意

安全にご使用いただくため必ずお守りください。

本装置の取り扱いを誤ると火災や感電の原因になります。お客様の身体や財産に損害を与えないため、重要な事項を下記の表示で表しています。保守管理ご担当の方は、この取扱説明書を手近な所に置き、製品が正しく使われるように遵守し、保守管理をしてください。

 危険	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負うような切迫した危険性があることを示しています。
 警告	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物理的損傷の発生が想定されることを示しています。

重 傷／失明・感電・けが・やけど・骨折・中毒などで後遺症があるもの。また治療に入院や長期通院を要するものを示します。

傷 害／治療に入院長期入院を要さない感電・けが・やけどなどを示します。

物的損傷／家屋・家財・設備機器・および家畜・ペットなどに関わる拡大損傷を示します。



- 本製品のカバーを外したり、分解改造したりはしないでください。
本体の内部は高圧電源を使用しているため、感電して死亡する恐れがあります。修理は、販売元におまかせください。
- 保守点検の際は必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
本体の内部は高圧電源を使用しているため、感電して死亡する恐れがあります。
- 本製品を落とす、または強い衝撃を与えた際は、直ちに使用を中止し販売元にご連絡ください。
本体内部のオゾン発生体が破損した状態で使用すると火災や感電により、死亡する恐れがあります。
- 本製品及びコンセント部に水をかけないでください。
漏電、火災などの事故に繋がる恐れがあります。
- 延長コードは使用しないでください。
接続部に水がかかると漏電、火災などの事故に繋がる恐れがあります。
- ご使用前にコンセント一次側に漏電ブレーカーがあることを確認してください。
水場で使用するため、漏電ブレーカーが必要です。



- コンセントから電源コードを抜く際は、コードを持たずにプラグを持って抜いてください。
コードが破損すると火災や感電の恐れがあります。
- 電源プラグに付着するホコリなどは定期的に取り除いてください。
ホコリなどがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、AC100V 50/60Hz 以外での使用はしないでください。
火災や感電の恐れがあります。
- 電源コードを破損するようなことはしないで下さい。
傷つける、加工する、熱器具に近づける、ねじる、引っ張る、重いものを乗せる、束ねる、挟み込むなどコードを傷つけると、漏電や感電の恐れがあります。
※傷んだプラグや緩んだコンセントは使用しないでください。
※電源コードを破損した場合の修理は販売元にご相談ください。
- 塗れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。
感電の原因になります。
- 電源コードは差し込み口に根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全だと感電や発熱による火災の原因になります。
- 電源コードは必ず専用のものをご使用ください。
また、付属の電源コードを他の製品で使用しないでください。
故障の原因になります。
- オゾン発生中に吹き出し口から、息を直接吸い込まないでください。
吹き出し口から出る高濃度オゾンを長時間吸うと人体に傷害を与える恐れがあります。
- 人やペットなどの動物がいる空間では絶対に使用しないでください。
本製品はグリーストラップで使用するため高濃度のオゾンを発生します。高濃度のオゾンは人やペットなどの動物に傷害を与える恐れがあります。
- 本製品をグリーストラップ以外で使用する場合は事前に販売元、メーカーにご相談ください。
十分な性能を発揮できない恐れがあります。
- 本体へ配管を行う際、締め込み過ぎないように注意してください。
強く締めすぎると本体接続部のプラスチックが破損する恐れがあります。
- 「仕様」に記載されている内容外で使用しないで下さい。
故障の原因になります。



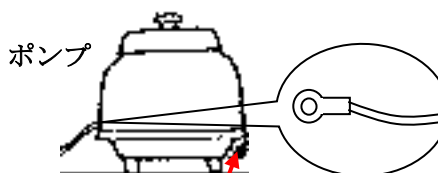
警告

感電事故防止のためアースを必ず接続してください。

- 本体の電源コードをアース付きコンセント（2極接地極付コンセント）に、または電源コード変換アダプタのアース線をアース端子（アースターミナル）に接続してお使いください。
- ポンプはアースビスにアース線を接続してください。

- 本体の電源コードをアースに接続できない場合は本体側面（正面から見て左側）のアースビスにアース線を接続してください。
- アース線は市販のものをお使いください。
- アース線の接続方法

アースビス側



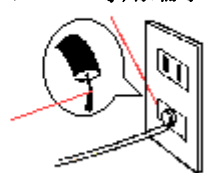
本体のアースビスを外し、アース線の圧着端子を確実に固定します。

アース端子側

アース線先端の皮をむき(15mm)、アース端子に確実に固定します。

15mm

アース専用端子



- アースは他の電気器具と共用したり、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続したりしないでください。

※屋内配線にアース端子が無い場合は、電気工事士の有資格者に依頼してD種（第三種）接地工事を行ってください。



- 本製品はグリーストラップで使用するために、高濃度のオゾンが発生させます。ご使用中にグリーストラップの蓋から、僅かながらオゾンが漏れ出ることがあります。特に、屋内に設置されたグリーストラップで使用する場合、販売元に従いオゾン発生量を適切に切り換えてご使用ください。
- オゾンを発生させたままの状態でごリーストラップの蓋を開けるとオゾンを吸引することがあります。僅かな時間であれば影響はありませんが、人体に対するオゾンの影響は以下の表を参照し、注意をしてください。

気中オゾンの生物への影響		
濃度[ppm]	生物への影響	備考
0.01～0.03	ほとんど臭わない	自然界の日中の濃度
0.04～0.06	爽やかな臭い、オゾンの臭いがある	海岸・山 (晴天の夏 PM 2 : 00)
0.06	これ未満は慢性肺疾病患者の嗅気能に影響なし	オキシダント環境基準
0.10	人体への影響 (のど・目・鼻が痛い)	USA 環境基準 日本産業衛生学会許容勧告濃度
0.60～0.80	頭痛・せき・呼吸困難	
0.50～1.00	呼吸障害・モルモットの寿命短縮	
1～2	2時間暴露で頭痛・胸部痛など	

- 呼吸器の弱い方は濃いオゾンを吸わないように気をつけてください。安全基準以下でも傷害を起こす恐れがあります。
- 錆びやすい品物は高濃度オゾンに直接接触すると錆が促進されますのでご注意ください。塗装皮膜・油脂皮膜のない鉄製品などは、オゾンの酸化作用で錆の進行が促進されます。アルミ製品・ステンレス製品は一般的にオゾン耐性があります。SUS304・SUS316 は高濃度オゾンに直接接触しても耐性があります。
- 天然ゴム類は高濃度オゾンに直接接触すると劣化しやすいので直接触れないようにご注意ください。アクリル (ACM,ANM) ・エチレンプロピレン (EPD,EPDM) ブチル (HR) の各ゴムはある程度オゾン耐性が認められています。フッ素 (FPM) は高濃度のオゾンに直接接触しても耐性があります。
- オゾンの酸化作用・漂白作用で装飾性を損なう恐れがありますので、貴金属製品などの貴重品はオゾンに直接触れないようご注意ください。

付属品



■ ポンプ接続側

- ① ストリートエルボ 1 個
- ② バルブソケット 1 個
- ③ 給水栓エルボ+ホースニップル 2 個
- ④ ホースバンド 2 個



■ 散気管側

- ① ストリートエルボ 1 個
- ② バルブソケット 1 個
- ④ ホースバンド 2 個
- ⑤ ホースニップル 1 本
- ⑥ 給水栓エルボ 1 個
- ⑦ 給水栓ソケット+ホースニップル 1 個

・ 本体	× 1	・ 取扱説明書	× 1
・ 保証書兼ユーザー登録はがき	× 1	・ 据付説明書	× 1
・ 個人情報保護シール	× 1		
・ 水濡れ禁止プレート	× 1	（※ご使用方法は次頁をご覧ください）	
・ 電源コード	× 1	・ 塩ビホース 40cm	× 2
・ シールテープ	× 1	・ マウントベース	× 1
・ 結束バンド	× 1		
・ ブロアポンプ (30L/min または 60L/min または 100L/min)	× 1		
・ 散気管 (1 m)		× 3 本(30L ポンプのとき)	
・ 散気管 (1 m)		× 4 本(60L ポンプのとき)	
・ 散気管 (1 m)		× 6 本(100L ポンプのとき)	

○ オプション品

- ・ 壁掛け金具

配管時の注意事項



警告

本体へ配管を行う際、強く締めすぎると本体の接続部のプラスチックが破損する恐れがあります。締め込み過ぎないように注意してください。

※1) 配管をする際、既成のパイプ等をご利用になる場合は、オゾンによって酸化しない塩ビ・ステンレス製のものをご利用ください。


※2) 本体左側面の接続口は、上がブロー（ポンプ）側、下が散気管側です。接続位置を間違えないようご注意ください。



一般的な配管接続例



※3) 設置工事の際は必ず据付説明書を読み、工事を行ってください。

 注意	<p>本体は防雨構造となっておりますが、本体側面に水や大量の水がかかると内部に侵入し漏電などの事故に繋がる恐れがあります。</p> <p>ご使用にあたって、直接水をかけないよう注意願います。</p>
--	---

ご使用にあたっては、本体に付属の水濡れ禁止プレートを本体の見えやすい場所に貼付してください。

水濡れ禁止プレート



貼付例




使用方法

本製品は防雨構造となっておりますが、電気製品ですのなるべく雨や水のかかる場所は避けて使用してください。

塵埃のある場所、油煙の発生する場所、40℃以上の高温になる場所は避けて使用してください。故障の原因になります。

- ① 取り付けは必ず本体が安定する場所に設置してください。
 - ② 本体設置後、配管をしてください。
 - ③ 本体に電源コードを取り付け、コンセントに差し込みます。
 - ④ ポンプの電源コードをポンプ専用コンセントに差し込んでください。
 - ⑤ 24時間タイマーをセットします。
 - ⑥ 空間の容積や汚れの程度によって6段階切替スイッチでオゾンの発生量を調節してください。
 - ⑦ オゾン発生スイッチをONにしてオゾンが発生させます。
- ※ 運転停止は、本体のオゾン発生スイッチOFF→電源コードを抜く、という順番で行ってください。

 注意	<p>本体の電源スイッチをONにするとオゾン発生を開始します。この時、必ずポンプを接続しておいてください。ポンプが停止した状態で、長時間オゾンの発生を続けると、故障を招く恐れがあります。</p>
--	---

○6段階切替スイッチの使用方法

適用する空間の容積や汚れの程度によってオゾン発生量を調節するスイッチです。グリーストラップの大きさ、臭気の強さなどに合わせてオゾンの発生量を調節してください。

※本体の設置場所の温度や気温が高い場合はオゾン発生量を高め、低い場合はオゾン発生量を低めに設定してください。

本体の保守・点検

「仙水」の性能を長期に渡って維持し、使用していただくために次のことを行ってください。

ポンプの点検・交換

ポンプ使用上の注意、取り扱い、保守点検につきましては、ポンプに付属する取扱説明書を参照し、保守管理をしてください。

ダイヤフラムやエレメント等の老化により定格圧力及び風量が下がります。グリーストラップ内の排水の悪臭防止、清掃頻度軽減等の効果維持のため、3年に1度はポンプを交換してください。主要消耗交換部品はエアークリーナエレメント、エアークリーナパッキンです。交換部品をお求めの際は販売元にご用命ください。

オゾン発生体のメンテナンス

強い悪臭環境下で使用しても付着物が付きにくい構造になっていますが、長期に渡って使用していただくとオゾンナイザー内部に付着物が付きます。オゾンナイザーの洗浄が不十分ですと、オゾンの発生が低下するなどトラブルの原因になります。

「仙水」の性能を維持するために定期的に下記のメンテナンスを行ってください。

・メンテナンス周期

- ①ご使用1ヶ月毎
- ②メンテナンスランプ点灯時

※連続稼働約3ヶ月でメンテナンスランプが点灯します。メンテナンスランプ点灯の際は発生体の洗浄を行ってください。

メンテナンスの方法

- ① オゾン発生スイッチをOFFにしてください。
- ② 本体の電源コードをコンセントから抜いてください。
- ③ オゾン発生体ユニットの固定ビスを取り外し、ハンドルを手前にゆっくり引いて、ユニットを取り外してください。

固定用ビス

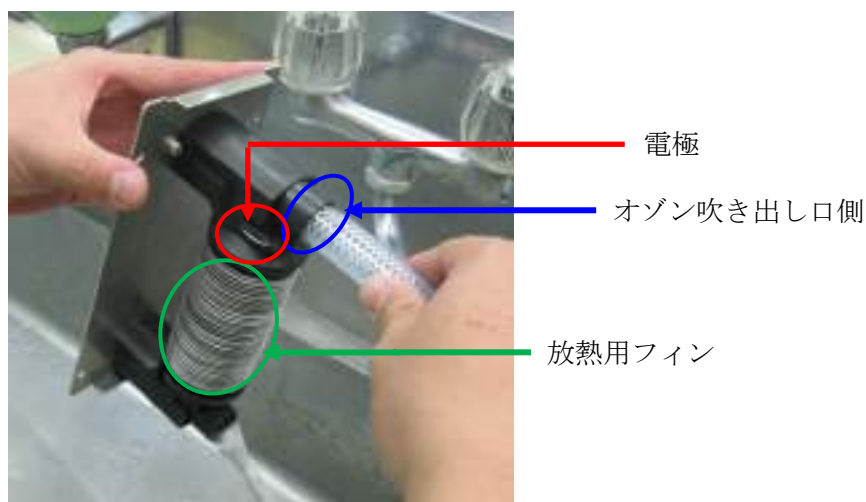


④ 4-1.水洗いの方法

オゾン吹き出し口側（表面の取手、電極が付いている方）から水道の流水で中を洗浄してください。

※洗浄前に必ず方向をご確認ください。

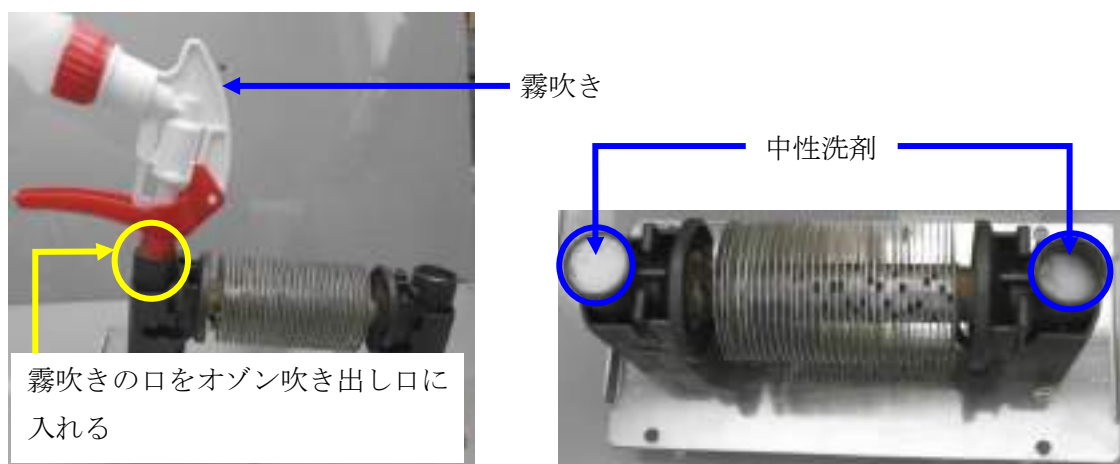
※オゾン発生体ユニットにはガラス管が使用されています。洗浄の際に強い衝撃を与えると破損の恐れがありますので、丁寧にお取り扱いください。



4-2.水洗いで効果が感じられない場合

内部に水洗いで落とせない汚れが付着していると考えられます。

霧吹きなどを使って、薄めた中性洗剤をオゾン発生体ユニットの内部に流し込み、そのまま約 30 分間放置してください。その後に、4-1 と同様に水洗いしてください。



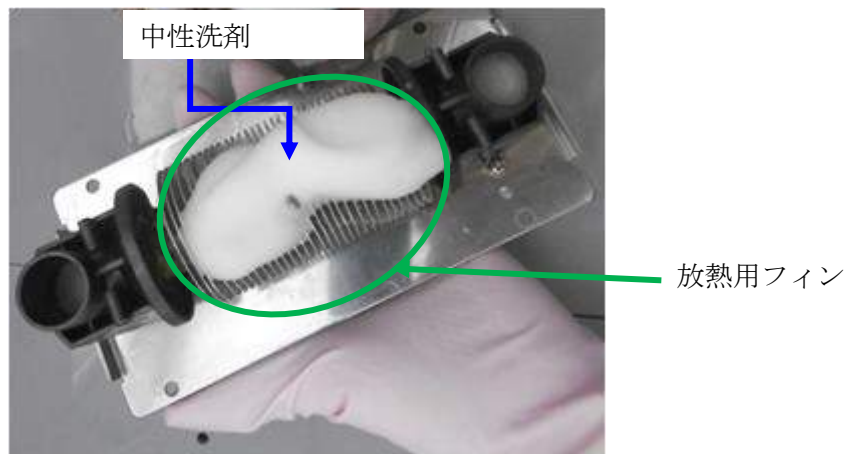
4-3.放熱用フィンが汚れている場合

放熱用フィンが汚れていると、冷却効果が落ちオゾン発生体の機能低下につながります。放熱用フィンの汚れが酷い場合、薄めた中性洗剤を使って洗浄してください。

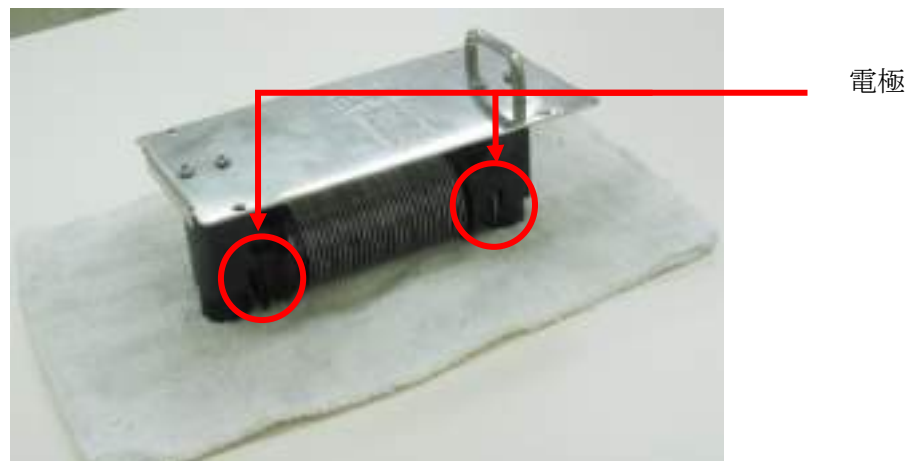
※注意

- ・中性洗剤以外の洗浄液を使わない。
- ・ケガの恐れがあるので、放熱用フィンに手で触らない。

- ・ガラス管が破損する恐れがあるので、強い力でこすらない。




- ⑤ オゾン発生体ユニットを完全に乾燥させてください。
※オゾン発生体の電極が濡れていると、漏電などの事故に繋がる恐れがあります。



- ⑥ オゾン発生体ユニットがしっかりセットしたことを確認し、固定用ビスを締めて固定してください。



- ⑦ 本体の電源コードをコンセントに差し込み、その後本体のオゾン発生スイッチをONにしてください。

 注意	<p>本体の電源スイッチをONにするとオゾン発生を開始します。この時、必ずポンプを接続しておいてください。ポンプが停止した状態で、長時間オゾンの発生を続けると、故障を招く恐れがあります。</p>
---	---

オゾナイザー脱着検知スイッチについて




オゾナイザー脱着検知スイッチ



オゾナイザーを取り外すとオゾナイザー脱着検知スイッチが働いて、動作しないようになっています。

メンテナンス終了時は、オゾナイザーを奥までしっかり装着してください。

 危険	<p>メンテナンス時、オゾナイザーを取り外した状態でオゾナイザー脱着検知スイッチに触れないでください。 本体の電源スイッチがON状態のまま、オゾナイザー脱着検知スイッチに触れると電源がONになり、予期せぬ感電を招く恐れがあります。</p>
---	---

トラブルと対応

トラブルの内容	原因	対応
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ■電源プラグが本体から抜けている。 ■電源コードがコンセントに差し込まれていない。 ■電気がコンセントまで達していない。 ■電源スイッチが入っていない。 ■ヒューズが断線している。 ■電源コードが断線している。 ■オゾンナイザーが正常に取り付けられていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグを奥までしっかり差し込む。 ●電源コードをコンセントにしっかり差し込む。 ●ブレーカー等を確認する。 ●電源スイッチをONにする。 ●販売元にお問い合わせください。 ●販売元にお問い合わせください。 ●オゾンナイザーが正常に取り付けられているか確認し、固定用ビスをしっかりと締め付ける。
オゾンが発生しない	<ul style="list-style-type: none"> ■オゾン発生スイッチがOFFになっている。 ■オゾンナイザーが汚れている。 ■24 時間タイマーの液晶表示がOFF表示を示している。 ■異常表示が点灯している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●オゾン発生スイッチをONにする。 ●オゾンナイザーのメンテナンスを行う。 ●24 時間タイマー操作方法を確認し、タイマーの設定を行ってください。 ●販売元にお問い合わせください。

・メンテナンスランプが点灯したら、オゾン発生スイッチをOFFにし、電源コードを抜き、オゾンナイザーのメンテナンスを行ってください。電源コードを抜くとメンテナンスランプが消えます。(メンテナンスは p.10～12 を参照してください。)

・下記の異常表示が点灯した場合、オゾン発生スイッチをOFFにし、電源コードを抜いて、販売元にお問い合わせください。

	異常表示
FAN異常の場合	FAN異常 LED 赤が点灯
ポンプ異常の場合	ポンプ異常 LED 赤が点灯
発生体異常の場合	発生体異常 LED 赤が点灯

※対応を行ってもトラブルが直らない場合は、具体的な状況、保障期間の有無、機種名等をお買い上げの販売元までご連絡ください。

仕様

○ブローポンプ 30Lまたは60L使用時

		セパレート型 (屋内設置用)	
セット型式	本体型式	AS-1000DS-30P	AS-1000DS-60P
	ブロー型式	AP-30P	AP-60F
電源	電圧	AC100V 50/60Hz	
消費電力	本体	45W	
	ブロー	22W	35W
外形寸法	本体	271 (H) × 264 (W) × 168 (D) mm (突起物含まず)	
	ブロー	186 (H) × 191 (W) × 174 (D) mm (突起物含まず)	199 (H) × 191 (W) × 174 (D) mm (突起物含まず)
重量	本体	約 5.5 kg	
	ブロー	約 3.9 kg	約 5.8 kg
原料		一般空気	
使用温度範囲		0~40℃ (結露のないこと)	
オゾン発生量		60 / 125 / 250 / 500 / 750 / 1000 mg/h (6段階切替)	
吹き出し口濃度		約 16 / 32 / 64 / 130 / 194 / 260 ppm (6段階切替)	約 8 / 16 / 32 / 65 / 97 / 130 ppm (6段階切替)
ブロー流量		30L/min	60L/min

○ブローポンプ 100L使用時

		セパレート型 (屋内設置用)	
セット型式	本体型式	AS-1000DS-100P	
	ブロー型式	AP-100F	
電源	電圧	AC100V 50/60Hz	
消費電力	本体	45W	
	ブロー	95W	
外形寸法	本体	271 (H) × 264 (W) × 168 (D) mm (突起物含まず)	
	ブロー	199 (H) × 191 (W) × 174 (D) mm (突起物含まず)	
重量	本体	約 5.5 kg	
	ブロー	約 6.1 kg	
原料		一般空気	
使用温度範囲		0~40℃ (結露のないこと)	
オゾン発生量		60 / 125 / 250 / 500 / 750 / 1000 mg/h (6段階切替)	
吹き出し口濃度		約 5 / 10 / 20 / 40 / 60 / 78ppm (6段階切替)	
ブロー流量		100L/min	

アフターサービス

保証書

保証書は必ず「販売元・購入日」等の記入とご確認の上、大切に保管してください。

(保証書期間／ご購入日から1ヶ年)

修理依頼

保証期間中に万一故障が発生した場合は、製品に保証書またはお買い上げ納品書などを提示の上、お買い上げの販売店またはアフターサービス窓口にて修理をご依頼ください。

緊急連絡先

販売元またはご自身で緊急連絡先をご記入ください。

会社名

部署名

担当者名

電話番号

FAX番号

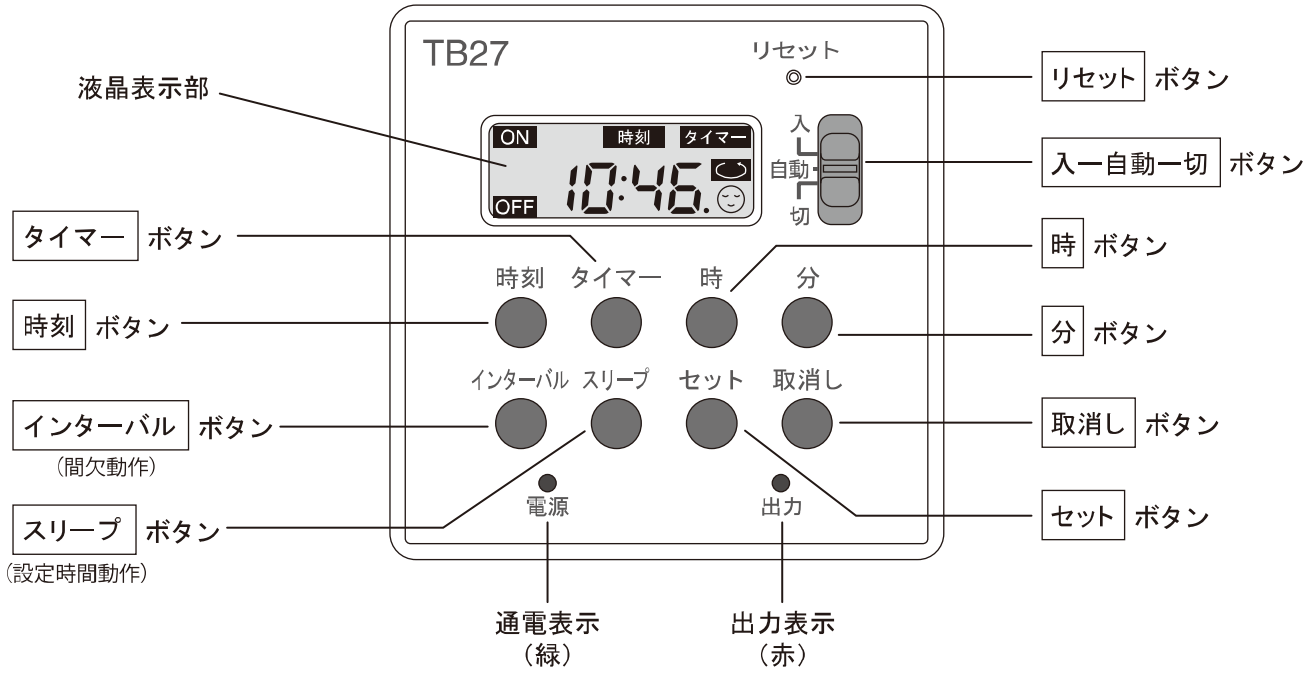
Z02-AS1000DS-601-7

24時間タイマー 操作方法

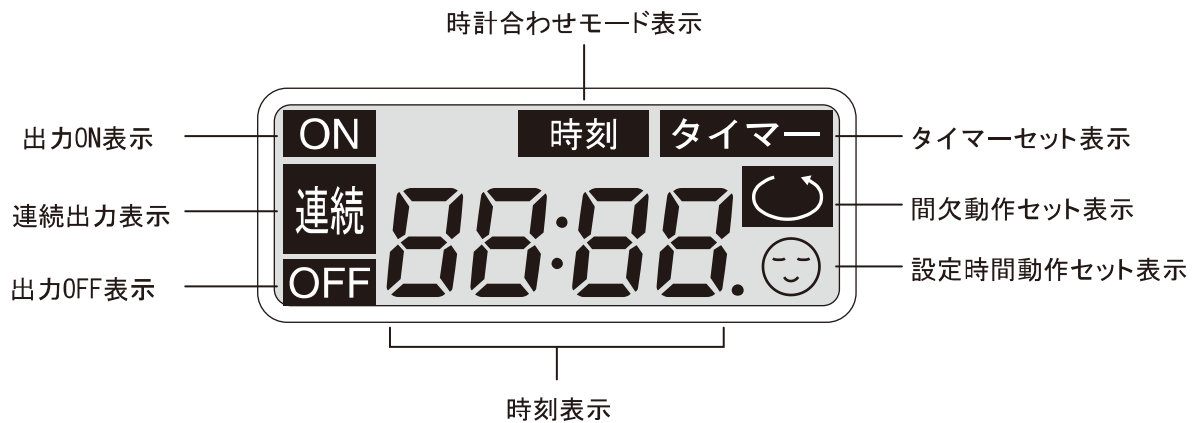


1 24時間タイマー各部の名称

正面



液晶表示部



2 機能概要

次の3種類の基本プログラム動作ができます。

動作の種類	動作内容
タイマー動作	<p>指定時刻(ON時刻)に「ON」し、指定時刻に(OFF時刻)に「OFF」する。</p>
間欠動作 (インターバル ボタン)	<p>指定時間(ON時間)「ON」、指定時間(OFF時間)「OFF」を繰り返す。 ※実行、終了にはタイマー動作またはモーメンタリー操作が必要です。</p>
設定時間動作 (スリープ ボタン)	<p>設定時点(現在)から設定時間だけ「ON」する。</p>

基本プログラム動作に加えて、次のような手動操作による動作があります。

■強制動作

動作の種類	動作内容
強制ON動作	<p>プログラムとは関係なくON状態を保持します。</p>
強制OFF動作	<p>プログラムとは関係なくOFF状態を保持します。</p>

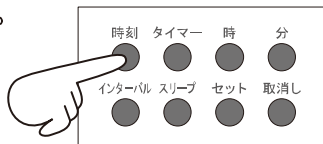
■当日限定動作

動作の種類	動作内容
当日限定ON動作	<p>一時的にOFF状態をON状態にし、以後、タイマー動作に従います。</p>
当日限定OFF動作	<p>一時的にON状態をOFF状態にし、以後、タイマー動作に従います。</p>

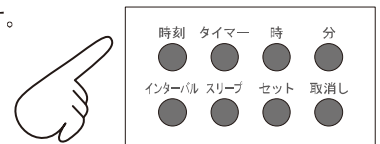
3 現在時刻の設定

(例)午後8時30分(20時30分)に合わせる場合

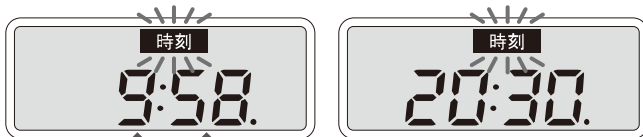
①「時刻」ボタンを押しながら



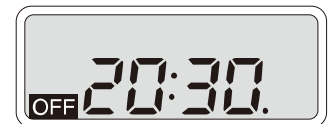
③「時刻」ボタンを離します。



②「時」「分」ボタンで、設定します。



- 1回押すごとに1時間(分)送れます。
- 1秒以上押し続けると早送りになります。



※時刻表示は、24時間制です。

※「時刻」ボタンを押しながら、「セット」ボタンを押すとボタンを押した時点から0秒スタートします。

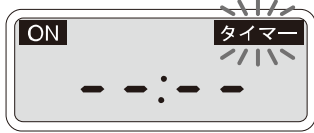
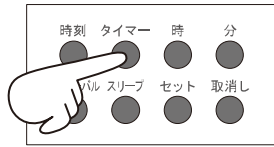
4 タイマーの設定

(例)午前10時に「ON」、午後4時30分(16時30分)に「OFF」にする場合



■ON時刻の設定

①「タイマー」ボタンを押しながら
(以後、設定完了まで)



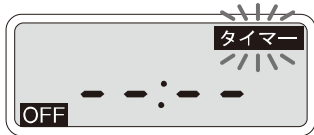
②「時」「分」ボタンで、ON時刻に合わせます。

- 1回押しごとに1時間(分)送れます。
- 1秒以上押し続けると早送りになります。



③「セット」ボタンを押します。

- 設定内容が記憶され、OFF時刻の設定画面になります。



■OFF時刻の設定

④「時」「分」ボタンで、OFF時刻に合わせます。



⑤「セット」ボタンを押します。

- 設定内容が記憶され、ON時刻の設定画面になります。



⑥「タイマー」ボタンを離します。

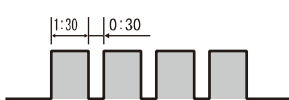


※ON時刻のみ、OFF時刻のみの設定もできます。その場合は、希望しない側の動作時刻を「 --- ← --- 」にしてください。

5 間欠動作の設定

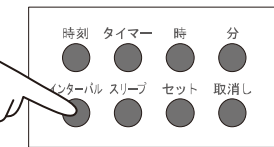
間欠動作の「ON」「OFF」は、タイマー設定または当日限定操作によっておこなわれます。ここでは、繰り返し動作する時間設定について説明します。

(例)1時間30分「ON」、30分「OFF」を繰り返す場合



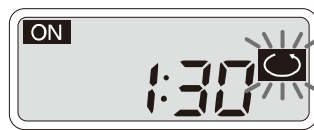
■連続ON時間の設定

①「インターバル」ボタンを押しながら
(以後、設定完了まで)



②「時」「分」ボタンで、ON時間を設定します。

- 1回押しごとに1時間(分)送れます。
- 1秒以上押し続けると早送りになります。



③「セット」ボタンを押します。

- 設定内容が記憶され、OFF時間の設定画面になります。



■連続OFF時間の設定

④「時」「分」ボタンで、OFF時間に合わせます。

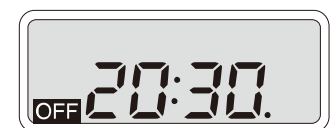


⑤「セット」ボタンを押します。

- 設定内容が記憶され、ON時間の設定画面になります。



⑥「インターバル」ボタンを離します。



6 設定時間動作の設定

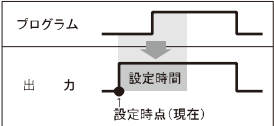
(例) 設定時間から2時間45分動作させる場合

- ①「スリープ」ボタンを押しながら
(以後、設定完了まで)
- ②「時」「分」ボタンで、
定時間動作させる時間を設定します。
●1回押すごとに1時間(分)送れます。
●1秒以上押し続けると早送りになります。
- ③「セット」ボタンを押します。
●設定内容が記憶されます。
- ④「スリープ」ボタンを離します。
●この時点から、設定時間動作を開始します。

※設定時間動作は、タイマー設定及び間欠動作設定と連動しています。

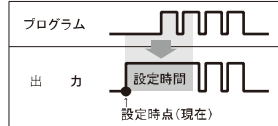
①タイマー動作との重なり

タイマー動作開始前にON

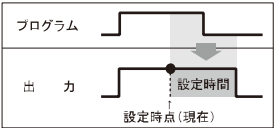


②間欠動作との重なり

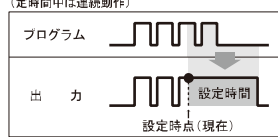
間欠動作開始前にON (定時間中は連続動作)



タイマー動作中、定時間経過後にOFF



間欠動作中、定時間連続動作後にOFF (定時間中は連続動作)



8 入一自動一切 スイッチの操作方法

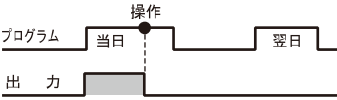
■強制動作

設定に関わりなく「ON」「OFF」したい場合は、「入」「切」スイッチで動作させます。

①強制ON動作



②強制OFF動作



■当日限定動作

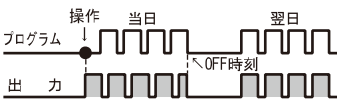
①当日限定ON動作

すぐに動作が始まり、タイマー設定による次のOFF時刻まで「ON」状態を保つか、または間欠動作をおこないます。

■間欠動作設定されていない場合



■間欠動作設定されている場合



一旦「入」の位置にして動作させた後、「自動」の位置にします。

7 各種設定の確認・変更・取消し

■確認

●該当するモードボタン(「タイマー」「インターバル」「スリープ」)を押すと設定内容が表示されます。「タイマー」「インターバル」ボタンを押しながら「セット」ボタンを押すと、ON時刻・時間とOFF時刻・時間が交互に表示されます。

■変更

●設定方法と同じです。

■取消し

●該当するモードボタン(「タイマー」「インターバル」「スリープ」)を押すと設定内容が表示されます。モードボタンを押しながら「セット」ボタンを押して、ON時刻・時間とOFF時刻・時間を表示させ、「取消し」ボタンを押します。取消しを確認後、モードボタンを離します。

○タイマー時刻を取消すと画面が「--:--」表示になります。

○間欠動作及び定時間動作を取消すと、画面が「0:00」表示になります。

※タイマー設定のON時刻、OFF時刻の両方を取消するときは、必ずそれぞれの時刻を取消してください。

※間欠動作設定の取消しは、ON時間、OFF時間のいずれか一方を取消すると、「インターバル」ボタンを離れた時点で、自動的に他方も取消されます。

■ご注意

(1)タイマー動作中にタイマー設定を変更すると、すぐに変更後の動作に切り替わります。また、取消すと、すぐにタイマー動作が停止します。

(2)間欠動作中に現在時刻や間欠動作時間の変更をした場合は、間欠動作の設定がズレることがあるのでご注意ください。

(3)間欠動作中に間欠動作設定を取消すると、動作を中止します。

(4)定時間動作中に定時間動作設定を取消すると、動作を中止します。

■当日限定動作

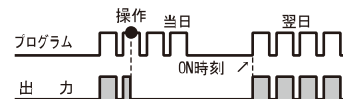
②当日限定OFF動作

すぐに動作を終了し、タイマー設定による次のON時刻まで「OFF」状態を保ちます。

■間欠動作設定されていない場合



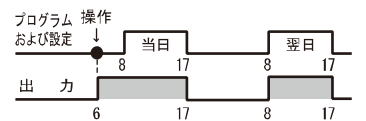
■間欠動作設定されている場合



一旦「切」の位置にして動作させた後、「自動」の位置にします。

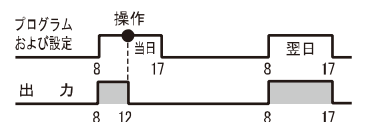
【使用例1】当日限定ON動作使用例

■本日だけ早朝から始業で、定刻より早く動作を開始する場合



【使用例2】当日限定OFF動作使用例

■本日だけ午後から休業で、定刻より早く動作を終了する場合



9 動作上のご注意

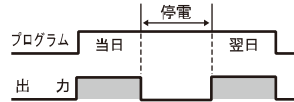
- ①タイマー設定で、ON時刻とOFF時刻を同じ時刻に設定した場合は、OFF動作が優先されます。
- ②タイマー設定で、現在時刻がON時刻とOFF時刻の間となる場合は、その当日から設定通りに動作します。ただし、ON時刻のみ設定した場合は、次のON時刻からの作動となります。
- ③間欠動作または定時間動作が開始されると、「間欠動作」表示、または「定時間動作」表示が点灯します。



- ④強制ON動作または強制OFF動作が開始されると、「連続」表示が点灯します。この時間欠動作または定時間動作中であった場合は、「間欠動作」または「定時間動作」表示は消灯します。



- ⑤停電中は動作しませんが、復電後は設定に従った動作をします。



※停電中は、「OFF」表示となります。



10 使用例

1. タイマー動作①

午前8:30に「ON」、午後5:15に「OFF」させる場合

タイマー ON時刻	8:30	間欠動作 ON時間	0:00
タイマー OFF時刻	17:15	間欠動作 OFF時間	0:00

【動作】

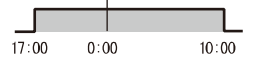


2. タイマー動作②(日渡り動作)

午後5:00に「ON」、翌日午前10:00に「OFF」させる場合

タイマー ON時刻	17:00	間欠動作 ON時間	0:00
タイマー OFF時刻	10:00	間欠動作 OFF時間	0:00

【動作】



3. タイマー動作③(単独動作)

午後7:30に「ON」した後、ずっと「ON」させておく場合

タイマー ON時刻	19:30	間欠動作 ON時間	0:00
タイマー OFF時刻	---	間欠動作 OFF時間	0:00

【動作】



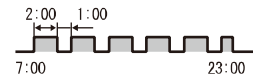
4. 間欠動作①(タイマー動作との組合せ)

午後7:00から午後11:00迄の間、2時間「ON」

1時間「OFF」の繰り返し動作をさせる場合

タイマー ON時刻	7:00	間欠動作 ON時間	2:00
タイマー OFF時刻	23:00	間欠動作 OFF時間	1:00

【動作】

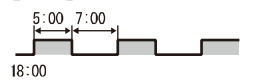


5. 間欠動作②(タイマー単独動作との組合せ)

午後6:00から5時間「ON」、7時間「OFF」の繰り返し動作をさせる場合

タイマー ON時刻	18:00	間欠動作 ON時間	5:00
タイマー OFF時刻	---	間欠動作 OFF時間	7:00

【動作】



6. 間欠動作③(当日限定操作との組合せ)

8時間「ON」、16時間「OFF」の繰り返し動作を

任意の時点から任意の時点までさせる場合

タイマー ON時刻	---	間欠動作 ON時間	8:00
タイマー OFF時刻	---	間欠動作 OFF時間	16:00

【動作】

